

平成29年度

教育委員会点検・評価報告書  
(対象:平成28年度事業)

平成29年10月  
田布施町教育委員会

## 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

田布施町教育委員会(以下「町教育委員会」という。)では、法の規定に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、平成28年度の町教育委員会の事務事業の執行状況について点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する者の知見を踏まえた上で、その結果をまとめましたので、報告します。

## 2 点検及び評価の実施について

### (1)対象事業

平成28年度に実施した町教育委員会の事業のうち、「平成28年度田布施町の教育」に掲げる主要な事業を選定し、「田布施町総合計画」に定める具体施策ごとに分類して、点検及び評価を行いました。

### (2)評価の方法

事業の概要、実績、経費の執行状況、課題などを内容とする「事業の点検・評価票」を作成し、下記の評価基準に基づき、町教育委員会事務局が内部評価を行うとともに、評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者として町教育委員会が委嘱した3名の委員による外部評価を実施しました。

### (評価委員)

伊場 恭子 (元中学校教頭、元町教育委員)  
平永 俊明 (元小学校長、元城南公民館長)  
西光 俊雄 (元町教育次長兼学校教育課長)

### (評価基準)

- A: 目的に対し、順調に事業が達成できた。
- B: 事業の進め方等に改善の検討はあるものの、概ね(8割程度)目的を達成できた。
- C: 目的の一部(5割程度)は達成できたが、事業の改善が必要である。
- D: 事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討が必要である。

## 3 点検及び評価の結果について

別紙のとおり

## 4 学識経験者の知見について

### (1)評価全般について

学校施設や社会教育施設等、老朽化がかなり進んでおり、早期の改善策が必要と考える。特に、中学校の大規模改修について計画的に実施してほしい。また、中央公民館については、耐震化工事を含め、早期の老朽化対策をお願いする。

不登校については、中学校の不登校生徒数が増加しており、大変重要な問題だと考えられる。関係者を含め、熱心に対応していると思われるが、さらなる連携や支援体制を強化していただき、継続的な働きかけを通して、一人でも多くの子供が解消できるよう努力していただきたい。

## (2) 施策、事業ごとの知見

### 【学校教育の充実】

#### No.1 教育委員会運営事業

定期的に総合教育会議を実施し、町長との連携を図られていることは大いに評価できる。今後も、継続的に実施してほしい。

#### No.2 スクールバス運行事業

バスの老朽化に伴う買い替え等については、今後の児童生徒数を考慮し、車種について十分検討されたい。

#### No.5 中学校管理事業

建築後23年が経過し、校舎や体育館の老朽化が見受けられる。大規模改修計画に基づき、空調設備を整備した後も、引き続き、外壁、屋上防水等整備についても順次対応していただきたい。

#### No.9 教員補助者設置事業

特別な教育的支援を必要とする児童に対して、より良い学習環境を提供するため、教員補助者を各学校に2名ずつ配置していることは非常に評価できる。

#### No.12 生徒指導推進事業

不登校は本町にとって大きな問題となっており、早急な対応が必要とされている。小学校、中学校、スクールソーシャルワーカー(SSW)、及びスクールカウンセラー(SC)による連携体制を強化し一体的に取り組まれていることは高く評価できる。

不登校問題の解決に対しては、よく努めているが、家庭環境や学力、人間関係づくり等、人的確かな課題把握による早期解消と、確かな学力・生活保証や中1ギャップの対応等、不登校の未然防止にむけた組織的・継続的な取組みを期待する。

#### No.13 学力向上推進事業

研修主任を中心に教職員一丸となって授業力向上に努められ、学力向上会議を開催し「全国学力・学習状況調査」「山口県学力定着状況確認問題」等の結果を分析し、結果と課題を共有することにより、町全体として成果も出ており評価できる。

#### No.17 コミュニティ・スクール推進事業

平成27年度からはじまったコミュニティ・スクールも、平成28年度には町内の全学校で立ち上げることが出来たことは、高く評価できる。

今後は、コミュニティ・スクールが十分に機能することによって、学校、家庭、地域が十分に協働し、地域のニーズを学校運営に取り入れ、開かれた学校運営を実現できるよう各種課題に取り組んでいただきたい。

### 【社会教育施策の充実】

#### No.20 地域協育ネット推進事業

全体的に大変よく活動されており、事業の成果も出していると評価できるが、放課後子ども教室が未設置の小学校については、各種教育活動を十分に活用しながら格差が出ないように努めてほしい。

### 【豊かな文化の継承と創造】

#### No.24 地域公民館まつり開催事業

毎年、各公民館でまつりが実施されており、生涯学習の成果の発表の場となっているが、中央公民館の文化展は参加者数も年々減少しており、今後の開催については十分検討されたい。

#### No.27 図書館管理運営事業

図書館については、新たな事業として「読書貯金通帳」に取り組むなど、人口減少の中で利用者数も増加するなどの成果も出ており評価できる。

### 【スポーツ・レクリエーションの振興】

#### No.33 スポーツセンター管理運営事業

指定管理者におかれては、組織の後継者育成及び地域、行政、関係団体等との連携・協力などについての課題に向けて取り組んでいただきたい。

## 5 今後の取組について

事業の点検及び評価の結果を十分に精査し、効果的・効率的な教育行政が展開できるよう、学識経験者の知見を踏まえ、事業の見直し、改善を進めます。

平成27年度策定した田布施町教育大綱、田布施町教育基本計画に基づき、「事業の点検・評価票」の内容について検討を進めてまいります。

また、今回の学習指導要領の趣旨に則り、新しい時代に必要となる資質、能力の育成と学校評価の充実に努め、特に学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性(やり抜く力や自制心)等の涵養を図ってまいります。

事業の点検・評価一覧表

No	事業の名称	経費 (千円)	評価	担当課
1	教育委員会運営事業	720	A	学校教育課
2	スクールバス運行事業	8,668	B	
3	小学校管理事業	20,850	A	
4	小学校教育振興事業	1,972	B	
5	中学校管理事業	11,875	B	
6	中学校教育振興事業	3,805	B	
7	保健関係事業	4,096	A	
8	就学援助事業	13,181	A	
9	教員補助者設置事業	6,034	A	
10	幼稚園就園奨励費事業	13,581	A	
11	幼児教育推進事業	—	A	
12	生徒指導推進事業	1,356	B	
13	学力向上推進事業	—	A	
14	体力向上推進事業	—	A	
15	特別支援教育推進事業	—	A	
16	キャリア教育推進事業	—	B	
17	コミュニティ・スクール推進事業	250	B	
18	学校給食センター運営事業	62,457	A	
19	生きがい教室開催事業	315	A	社会教育課
20	地域協育ネット推進事業	1,090	B	

No	事業の名称	経費 (千円)	評価	担当課
2 1	成人式開催事業	531	A	社会教育課
2 2	人権教育推進事業	435	A	
2 3	地域人権教育推進事業	1,157	B	
2 4	地域公民館まつり開催事業	430	B	
2 5	公民館運営事業	20,833	A	
2 6	公民館施設管理事業	13,031	B	
2 7	図書館管理運営事業	16,229	A	
2 8	郷土館管理運営事業	8,008	B	
2 9	埋蔵文化財調査事業	42,999	B	
3 0	スポーツ推進体制強化事業	480	B	
3 1	生涯スポーツ推進事業	2,545	B	
3 2	我がまちスポーツ推進事業	—	A	
3 3	スポーツセンター管理運営事業	54,273	C	

事業の点検評価票(学校教育)

No.1

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	教育委員会運営事業		
事業の概要	教育委員会会議の開催や教育委員の研修及び学校訪問等		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議及び協議会:5回</li> <li>・総合教育会議開催:2回</li> <li>・教育委員学校訪問:11月29日(小学校4校、中学校1校、給食センター)</li> <li>・教育委員研修会等             <ul style="list-style-type: none"> <li>①山口県市町教育委員会委員研修会:4月20日(山口市)</li> <li>②柳井地域教育委員等研修会:11月14日(柳井市)</li> <li>③山口県教育委員会協議会・山口県教育長会合同定例会:3月28日(山口市)</li> </ul> </li> <li>・その他教育関係行事(小中学校入学式・卒業式・運動会、田布施町教育委員会表彰等)への出席</li> </ul> 委員報酬[705,550円]、評価委員報酬[15,000円]		
事業の経費	720千円		
事業の成果と課題	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について適正な点検及び評価を行い、今後の教育行政に反映する取組を進めている。また、総合教育会議を2回開催し、各学校の現状や施設整備について町長部局との連携を図った。		
評価	A		

No.2

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	スクールバス運行事業		
事業の概要	遠距離通学となる児童の通学条件の緩和を図るため、町所有のスクールバス3台を交通業者に委託。		
事業の実績	対象児童生徒の登下校及び総合的な学習活動や中学校クラブ活動に利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・麻郷小学校 1台(対象人数:20人)</li> <li>・田布施西小学校 1台(対象人数:10人)</li> <li>・東田布施小学校 1台(対象人数:15人)</li> <li>・総合的な学習活動(40回)、クラブ活動利用(15回)</li> </ul> 運行委託料[7,879,752円]、修繕料[788,387円] → 8,668,139円 消耗品[64,032円]、燃料代[632,679円]、保険料[47,160円] 車検[33,540円]、重量税[80,700円]		
事業の経費	8,668千円		
事業の成果と課題	遠距離通学の児童の通学条件の緩和や登下校の安全が図られた。課題として、バスの老朽化に伴い修繕等も増加しており、安全面から考慮すると早期買替えが望ましいが、これからの児童数の推移を踏まえて、今後のスクールバスの適正な運用管理を慎重に検討する必要がある。		
評価	B		

No.3

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	小学校管理事業		

事業の概要	所管する4小学校の施設維持管理及び学校設備等の整備を行う。																												
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費 8,032 千円</li> <li>・点検管理業務等の委託 12 件 4,391 千円 浄化槽、校舎清掃業務等</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>消防</td><td>435,240</td></tr> <tr><td>電気</td><td>418,608</td></tr> <tr><td>浄化槽</td><td>1,393,878</td></tr> <tr><td>清掃</td><td>1,129,200</td></tr> <tr><td>プール</td><td>138,240</td></tr> <tr><td>貯水槽</td><td>45,576</td></tr> <tr><td>剪定</td><td>276,000</td></tr> <tr><td>下水中継ポンプ</td><td>181,440</td></tr> <tr><td>遊具点検</td><td>—</td></tr> <tr><td>シンクシステム保守</td><td>227,016</td></tr> <tr><td>機器保守</td><td>124,961</td></tr> <tr><td>PC 保守</td><td>21,600</td></tr> <tr><td>合計</td><td>4,391,759</td></tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">※遊具点検については3年毎に実施。(次回はH30年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小学校修繕費 6,479 千円</li> <li>・田布施西小学校壁掛扇取付配線工事 241 千円</li> <li>・城南小学校特別教室空調設備工事 1,188千円</li> <li>・学校用備品 519 千円([一般備品 280,196 円]+[その他備品 239,760 円])</li> </ul>		H28	消防	435,240	電気	418,608	浄化槽	1,393,878	清掃	1,129,200	プール	138,240	貯水槽	45,576	剪定	276,000	下水中継ポンプ	181,440	遊具点検	—	シンクシステム保守	227,016	機器保守	124,961	PC 保守	21,600	合計	4,391,759
	H28																												
消防	435,240																												
電気	418,608																												
浄化槽	1,393,878																												
清掃	1,129,200																												
プール	138,240																												
貯水槽	45,576																												
剪定	276,000																												
下水中継ポンプ	181,440																												
遊具点検	—																												
シンクシステム保守	227,016																												
機器保守	124,961																												
PC 保守	21,600																												
合計	4,391,759																												
事業の経費	20,850 千円																												
事業の成果と課題	児童の安全及び良好な教育環境を確保するため、必要となる学校施設の修繕等を実施した。また、特に風通しが悪い学校の教室のみ扇風機を設置したが、暑さ対策からも、今後は年次的に各学校の教室に扇風機等を設置することが必要である。																												
評価	A																												

#### No.4

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	小学校教育振興事業		
事業の概要	児童、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合学習等関係経費、教職員研修会等への補助金。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習における講師謝金 28 千円</li> <li>・バス借り上げ料 189 千円 (陸上記録会、音楽会)</li> <li>・教材備品 493 千円</li> <li>・図書購入費 751 千円</li> <li>・各種負担金、補助金 511 千円</li> </ul>		

		H28	
		教職員研修	150,000
		県郡校長会	130,000
		県郡教頭会	112,500
		県郡教研究会	60,600
		小学体育連盟	5,580
		養護教諭研修会	16,000
		事務職員研修会	20,000
		学校保健連合会	16,500
		合 計	511,180
事業の経費	1,972 千円		
事業の成果と課題	ここ数年減額していた図書購入費を、基礎学力の向上対策として増額した。 また、理科教育設備整備事業において、計画的に国庫補助を活用して備品等の整備を図りたい。今後、計画的な更新が必要である。		
評 価	B		

No.5

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課																						
事業の名称	中学校管理事業																								
事業の概要	所管する中学校の施設の維持管理及び学校設備等の整備を行う。																								
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費 4,976 千円</li> <li>・点検管理業務等の(委託9件) 4,003 千円</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防</td> <td>426,600</td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>174,960</td> </tr> <tr> <td>清掃</td> <td>954,433</td> </tr> <tr> <td>プール</td> <td>34,560</td> </tr> <tr> <td>貯水槽</td> <td>120,204</td> </tr> <tr> <td>樹木剪定</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>ビル管理</td> <td>2,170,800</td> </tr> <tr> <td>シンクラシステム保守</td> <td>71,928</td> </tr> <tr> <td>パソコン保守</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,003,485</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕費 2,698 千円</li> <li>・学校用備品 198 千円</li> </ul>				H28	消防	426,600	電気	174,960	清掃	954,433	プール	34,560	貯水槽	120,204	樹木剪定	50,000	ビル管理	2,170,800	シンクラシステム保守	71,928	パソコン保守	—	合計	4,003,485
	H28																								
消防	426,600																								
電気	174,960																								
清掃	954,433																								
プール	34,560																								
貯水槽	120,204																								
樹木剪定	50,000																								
ビル管理	2,170,800																								
シンクラシステム保守	71,928																								
パソコン保守	—																								
合計	4,003,485																								
事業の経費	11,875 千円																								
事業の成果と課題	<p>生徒の安全及び良好な教育環境を確保するため、必要となる学校施設の修繕等を実施した。</p> <p>中学校においては、築23年が経過し老朽化等も激しいことから、空調整備、大規模改修を含めた「平成29～31年度事業計画」に基づき実施する予定であったが、H28年度の国の補正予算で「平成28年度空調整備事業」として前倒しで採択され実施が可能となった。</p> <p>しかし、採択時期が年明けであったため、全額を平成29年度に繰越しすることになり、この部分の成果と課題については、「平成28年度採択、平成29年度実施事業」と</p>																								

	して次年度評価で記載する。 今後は国の予算を注視しながら補正予算も含め事業を進める必要がある。
評 価	B

No.6

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課																														
事 業 の 名 称	中学校教育振興事業																																
事 業 の 概 要	生徒、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合的な学習等関係経費、教職員研修会等への補助金。																																
事 業 の 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習における講師謝金 17 千円</li> <li>・バス借上げ料 106 千円 吹奏楽部コンクール出場(1台)</li> <li>・教材備品 392 千円</li> <li>・図書購入費 499 千円</li> <li>・部活動備品 407 千円</li> <li>・各種負担金、補助金 2,384 千円</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務職員研修会</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>養護教諭研修会</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>県郡校長会</td> <td>42,500</td> </tr> <tr> <td>県郡教頭会</td> <td>22,500</td> </tr> <tr> <td>県郡教育研究会</td> <td>46,500</td> </tr> <tr> <td>中学体育連盟</td> <td>282,070</td> </tr> <tr> <td>学校保健連合会</td> <td>8,420</td> </tr> <tr> <td>中学文化連盟</td> <td>42,100</td> </tr> <tr> <td>修学旅行</td> <td>111,764</td> </tr> <tr> <td>部活動指導</td> <td>360,000</td> </tr> <tr> <td>集団宿泊</td> <td>811,120</td> </tr> <tr> <td>県大会出場助成</td> <td>500,000</td> </tr> <tr> <td>教職員研修会</td> <td>144,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,384,974</td> </tr> </tbody> </table>				H28	事務職員研修会	10,000	養護教諭研修会	4,000	県郡校長会	42,500	県郡教頭会	22,500	県郡教育研究会	46,500	中学体育連盟	282,070	学校保健連合会	8,420	中学文化連盟	42,100	修学旅行	111,764	部活動指導	360,000	集団宿泊	811,120	県大会出場助成	500,000	教職員研修会	144,000	合計	2,384,974
	H28																																
事務職員研修会	10,000																																
養護教諭研修会	4,000																																
県郡校長会	42,500																																
県郡教頭会	22,500																																
県郡教育研究会	46,500																																
中学体育連盟	282,070																																
学校保健連合会	8,420																																
中学文化連盟	42,100																																
修学旅行	111,764																																
部活動指導	360,000																																
集団宿泊	811,120																																
県大会出場助成	500,000																																
教職員研修会	144,000																																
合計	2,384,974																																
事 業 の 経 費	3,805 千円																																
事業の成果と課題	理科教育設備整備事業において、国庫補助を活用して計画的に備品の整備を図りたい。また部活動備品等老朽化が激しい物も多いが、物によっては高額な物もあることから、部活動に支障が起きないよう、平成 26 年度から予算要求を行い、年次的、計画的に更新をしている。																																
評 価	B																																

No.7

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	保健関係事業		
事業の概要	学校保健安全法に基づく小中学校児童生徒や教職員の各種検診等。		
事業の実績		H28	
	教職員健康診断(基本検診)	485,700円	
	教職員健康診断(胃検診)	298,000円	
	教職員健康診断(結核検診)	79,379円	
	児童生徒心臓検診 (小1年・4年、中1年)	791,006円	
	就学時健康診断	637,200円	
	児童生徒健康管理	1,805,050円	
	合計	4,096,335円	
事業の経費	4,096千円		
事業の成果と課題	児童生徒や教職員の健康管理については、関係機関と連携を図りながら、迅速な対応をしている。		
評価	A		

#### No.8

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	就学援助事業		
事業の概要	経済的な理由による就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助をする。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 学用品費 101人[1,985千円]医療費 15人[69千円]給食費 100人[4,571千円]</li> <li>・中学校 学用品費 67人[3,274千円]医療費 4人[29千円]給食費 68人[3,251千円]</li> </ul>		
事業の経費	13,181千円		
事業の成果と課題	学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学困難な児童・生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、適正に運営している。		
評価	A		

#### No.9

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	教員補助者設置事業		
事業の概要	特別な教育的支援を必要とする児童が、学校教育に適応できる環境を整えることにより、きめ細かな指導を行う。		

事業の実績	・配置校及び人数 麻郷小学校 2名 田布施西小学校 2名 東田布施小学校 2名 城南小学校 2名 計 8名
事業の経費	6,034千円
事業の成果と課題	特別な教育的支援を必要とする児童に対して、より良い学習環境を提供するため、教員補助者を各小学校に2名ずつ配置している
評価	A

#### No.10

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	幼稚園就園奨励費事業		
事業の概要	家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担を軽減するため、幼稚園の入園料及び保育料について、その一部を補助する。		
事業の実績	平成28年度は町内在住の園児114人を対象に保育料等の一部を補助した。		
事業の経費	13,581千円		
事業の成果と課題	保護者の所得状況に応じて、入園料及び保育料の全額又は一部を補助することにより、保護者負担の軽減の支援を行った。今後も国の動向を見ながら、事業を継続していく必要がある。		
評価	A		

#### No.11

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	幼児教育推進事業		
事業の概要	幼児期の教育の重要性を再認識し、幼児一人ひとりの個性を尊重するとともに、社会生活における望ましい習慣や態度を育成する。また、幼児教育の質の向上を図り、幼児期から連続性・一貫性のある教育の充実に努める。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小中連携会議の開催(年3回)</li> <li>・5歳児発達相談会での就学に関する相談、助言</li> <li>・就学時健康診断の実施</li> <li>・小中教員による幼保園訪問の開催</li> <li>・教員の幼児教育長期研修派遣の支援</li> </ul>		
事業の経費	—千円		
事業の成果と課題	幼保小中連携会議を3回実施し、基本的な生活習慣指導の現状把握と指導助言を実施した。また、小中教員による幼保園の訪問や、幼保園と小中学校教員による合同研修を実施し、情報の共有や連携を図った。		
評価	A		

#### No.12

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	生徒指導推進事業		

事業の概要	児童生徒が互いの心身を大切にし尊重し合える学校づくりや、小中学校で一貫した指導体制の確立、また、いじめや問題行動への早期発見・早期対応により、個に応じたきめ細かな支援体制を確立する。
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SC、SSWの積極的な活用(定期的・臨時的相談、訪問含む)</li> <li>・早期発見のためのいじめアンケート実施、教育相談等の充実</li> <li>・GAP調査(生徒理解のための受容感プロファイリングツールとして活用している)</li> <li>・ケース会議の開催 (学校の要請により、SC、SSW、警察、児童相談所、関係各課の参加)</li> <li>・町民福祉課との情報交換実施</li> </ul> <p>【不登校】                      【暴力行為】                      【いじめ(認知件数)】</p> <p>H28 小3人 中16人      小1人 中4人      小1人 中9人</p> <p>SSW派遣事業 委託料                                      381,883円</p> <p>不登校総合対策事業 学習支援員 臨時雇賃金 767,200円</p> <p>SC賃金                                      176,250円</p> <p>普通旅費                                      31,272円</p>
事業の経費	1,356千円
事業の成果と課題	<p>小学校の不登校については横ばいであるが、中学校の不登校は増加傾向にあり、比率から考えると非常に多く、本町にとっても切実な問題となっており、重く受け止めている。</p> <p>小中が連携して、これらに対応するため、SSWと指導主事が不登校等状況を把握するため、3学期には各小学校を巡回訪問を行っている。</p> <p>中学校進学へ向けては、SCと中学校養護教諭、指導主事が各小学校に訪問して情報交換を行っている。</p> <p>さらに、県事業を活用し、昨年度よりSSWを2名増し4名体制に強化しており、SSW、SC共に活用するケースが年々増加傾向にある。これによって、少しずつではあるが、改善方向に向かっている事案も増えている。</p> <p>今後も、SSWやSCとの連携を強化し早期発見・早期対応は基より、一人でも多くの児童生徒が登校できるように個に応じたきめ細かな支援体制の強化を図りたい。</p>
評価	B

### No.13

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	学力向上推進事業		
事業の概要	学校の組織的な取組、授業改善を含めた工夫や教員一人ひとりの授業力向上、学習環境づくりに努めるとともに、学習習慣の確立と主体的な学習態度の育成を図る。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事の学校訪問による指導、支援</li> <li>・校内研修(研究授業)への指導・助言</li> <li>・授業改善、学力向上のための情報共有と指導・助言</li> <li>・町学力向上担当者会議(年3回)の開催による「全国学力・学習状況調査」及び「山口県学力定着状況確認問題」への対応</li> <li>・成長診断テストの実施及び指導による学力、生活の保証</li> </ul>		
事業の経費	— 千円		

事業の成果と課題	<p>各学校が研修主任を中心に「授業改善に向けた校内研修計画」「学力向上プラン」に基づき、授業や学習活動を行っている。</p> <p>授業改善では、学校訪問や授業公開において、「めあて一言語活動―振り返り」授業の推進を指導した。また、町学力向上担当者会議を年3回開催し、学力向上担当が全国学力・学習状況調査や県学力定着状況確認問題の各学校の結果に対して、成果と課題を分析し、次への取組を情報共有する場とした。</p> <p>このように、町として年2回の検証改善サイクルを徹底して行った。その結果、課題に改善が見られ、町全体として好成績を上げることができた。</p>
評価	A

#### No.14

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	体力向上推進事業		
事業の概要	<p>体育の授業や町の体育的行事等を核としながら、体育的活動の充実を図るとともに、児童生徒の体力の向上を目指す。</p>		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「体力向上プログラム」の作成及び「1校1取組」に対する指導</li> <li>・町水泳記録会、町陸上記録会、町内一周駅伝競走大会への参加</li> <li>・体力テスト等のデータ集積による課題把握、分析、取組に対する指導助言</li> <li>・スポーツまつりなど積極的参加の指導</li> <li>・学校林を活用した体力づくり</li> </ul>		
事業の経費	一 千円		
事業の成果と課題	<p>各学校で「体力向上プログラム」を作成し、業間体育や昼休み、放課後等を利用して体力向上に取り組んだ。敷地内にある学校林を利用した体力づくりや、町水泳記録会、町陸上記録会、町内一周駅伝への参加のための練習により、全校あげて体力向上への取組を行った。体力テストに向けての、正しい測定の仕方、実施の仕方についての指導・助言を行い、成果が見られた。</p> <p>今後、県トップレベルを維持していくために、体力面での課題である柔軟性や投力・握力に重点をおいた指導の工夫が必要と思われる。</p>		
評価	A		

#### No.15

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	特別支援教育推進事業		
事業の概要	<p>児童生徒一人ひとりの障害の状況や教育的ニーズに対して、正しい認識と共通理解のもと、教育的支援を計画的に推進する。</p>		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町教育支援委員会の開催</li> <li>・町校内コーディネーター研修会の開催</li> <li>・町幼保小中連携会議の開催(年3回)</li> <li>・就学に係る幼・保園訪問の実施</li> <li>・就学時健康診断の実施と結果通知</li> <li>・田布施総合支援学校や地域コーディネーターとの連携</li> <li>・各学校における特別支援学級設置状況</li> </ul> <p>麻郷小学校 : 自閉症・情緒障害</p>		

	田布施西小学校:自閉症・情緒障害、知的障害 東田布施小学校:自閉症・情緒障害、知的障害、難聴 城南小学校 :病弱 田布施中学校 :自閉症・情緒障害、知的障害
事業の経費	一 千円
事業の成果と課題	幼保小中連携会議により成果と課題の共有化を図り、田布施町の教育のあり方について共通認識した。 保健センターと情報の共有や連携を強化するため、5歳児発達相談に参加し、できるだけ早い段階での就学に向けた相談ができ、関係機関との連携を図った。 また、昨年までの「身体に関する結果通知」に加え、「知的発達検査の結果」についても通知するように改善し、就学前の相談体制を構築した。 課題としては、各学校の校内コーディネーターの役割や重要性についても研修する必要がある。
評価	A

### No.16

施策名	ふるさと就労に向けた高校・大学との連携	担当課	学校教育課
事業の名称	キャリア教育推進事業		
事業の概要	社会的・職業的自立に向けた勤労観、職業観等を身に付けるためのキャリア教育・職業教育の推進と進路指導の充実を図る。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育全体計画の見直し等に関する指導</li> <li>・1/2成人式、立志式の奨励</li> <li>・社会見学や職場訪問、職場体験に関する指導・助言</li> </ul>		
事業の経費	一 千円		
事業の成果と課題	キャリア教育に対して、社会見学や職場訪問、職場体験が、効果的に実施されている。小学校では1/2成人式が全校で実施され、中学校では、志教育や栄光の旗頭彰式が行われている。 「自分がしたいこと」「自分にできること」「社会が求めていること」の3つの視点で計画立案し、実行するよう助言した。特に中学校に関しては、この式を立派な立志と捉えている。今後は、将来の夢や目標に対して決意を堅持する場を毎年設定していくことが必要である。		
評価	B		

### No. 17

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	コミュニティ・スクール推進事業		
事業の概要	学校・家庭・地域が連携・協働する体制づくりをめざし、学校を中心に世代を超えた新たな絆が生まれるように、地域総がかりによる学校づくりや子供の育成に努める。		
事業の実績	[麻郷小 4回] [西小 4回][東小 4回][城南小 4回] [田布施中学校 4回]		
	学校運営協議会	50,000円×5校=250,000円	
事業の経費	250千円		
事業の成果と課題	H27年度から中学校でコミュニティ・スクールが始まり、H28年度から全小学校4校においてコミュニティ・スクール(学校運営協議会)が立ち上がった。中学校は2年目と		

	なり、組織としての運営も少しずつではあるが軌道にのりはじめ、地域との繋がりもできてきた。また、小学校においては地域の地盤がしっかりしておりスムーズに移行ができた。その中でCS委員会を立ち上げ、コミュニティ・スクールが目指す方向性について提示することができた。
評 価	B

No.18

施 策 名	学校給食センターの効率的な運用	担当課	給食センター
事業の名称	学校給食センター運営事業		
事業の概要	<p>児童生徒の心身の健全な発達のため、安全でおいしくバランスのとれた栄養豊かな食事を提供し、健康の増進、体位の向上を図り、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、自然の恵みや人々の温かい心への感謝の気持ちを育てる。</p> <p>児童生徒が生涯にわたって健康で過ごすために、自己管理能力を身に付け、多様で個性豊かな教育的なねらいをもった学校給食を推進する。</p>		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食対象校 小中学校 5校</li> <li>・年間給食回数 193 日</li> <li>・年間給食 244,665 食</li> <li>・給食費収入額 64,283,410 円</li> <li>・米飯 週 3.5 回 パン 週 1.5 回</li> <li>・地場産週間における地場産食材使用状況 年間平均 90.3%</li> <li>・各小学校への学校給食巡回訪問 20 回</li> </ul>		
事業の経費	62,457 千円		
事業の成果と課題	<p>食事内容が安全で栄養的に優れ、児童生徒にとって魅力的であるように、献立・調理の質的充実・向上に努めており、給食残食率が低下してきている。今後もこの取組を継続していく。</p> <p>食中毒や異物混入防止のため食材の点検、調理場の清掃、職員の定期的な細菌検査等衛生管理を継続して徹底していく。</p> <p>老朽化した各種調理機器、備品等を計画的に更新していく。</p> <p>現在、町職員(調理員)が3人であるが、年次的に常勤パートの人数を増員し、可能な限り、町の運営を継続していく。</p>		
評 価	A		

事業の点検評価票(社会教育課)

No.19

施策名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	生きがい教室開催事業		
事業の概要	60歳以上の高齢者が、いろいろな分野の講師、指導者の講座により学習し、多くの仲間と共に地域とのふれあいを深めることにより、生涯学習の推進を図る。各地域の公民館で教室生を募り、教室生自らが講座の計画・立案等を行い、定期的(月1回程度)に教室を開催する。(講座運営費 年1,500円を徴収)		
事業の実績	修了証書授与者 城南公民館31人、西田布施公民館50人、東田布施公民館42人、麻郷公民館32人、麻里府公民館39人 <u>合計 194人</u> (経費内訳: 講師謝金、消耗品費等)		
事業の経費	315千円		
事業の成果と課題	各地域の公民館生きがい教室とも、30人弱から50人弱程度の参加があり、教室生が主体的に事業運営に取り組み、講座内容も防災・防犯、健康に関することや、小中学生とのふれあい、研修旅行など多岐にわたり、各公民館で高齢者の生きがいづくり、生涯学習の場として特色ある取組がされている。		
評価	A		

No.20

施策名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	地域協育ネット推進事業		
事業の概要	安全・安心な放課後の子どもの居場所づくりと、子どもと地域の交流の場づくりを推進するため、放課後子ども教室の企画・運営を支援する。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室(7教室) 「東田布施小学校 PTCA」、「西の寺子屋」、「たぶせキッズ教室」、「たぶせ少年少女発明クラブ」、「たぶせ少年少女合唱団」、「たぶせ天体教室」、「田布施中学校放課後学習会」</li> <li>・教育支援員等スキルアップ研修会(2回) 中央公民館にて講義(12月8日)、熟議(8月4日) 県事業「山口県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」 地域協育ネット推進事業(2/3 補助、補助額 472千円) (経費内訳: 講師謝金、消耗品費、通信運搬費等)</li> </ul>		
事業の経費	1,090 千円		
事業の成果と課題	<p>各地域の放課後子ども教室指導者・支援員が熱心に関わって指導している。また、地域の方と子どもが同じ時間・同じ場所・同じ内容に取り組むことを通して、共感的理解を促し、教育効果はもとより、地域の活性化にも大きく寄与している。</p> <p>教育支援員等スキルアップ研修会により、子どもへの関わり方、効果的な支援方法を学び、指導者自身の資質の向上及び情報交換による相互の交流を図っている。</p> <p>課題としては、全小学校区での放課後子ども教室の開催が未実施のため、麻郷小、城南小での開催が期待される。</p> <p>H28年度からの各小中学校のコミュニティ・スクール立上げに伴い、学習支援ボランティアバンクを立ち上げ、小・中学校からの応援要請に応じて、登録者が日常の授業等に入り、サポートするなどの活動に努めている。</p>		
評価	B		

## No.21

施策名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	成人式開催事業		
事業の概要	新成人の自主運営による成人式を開催する。 対象者は、平成8年4月2日から平成9年4月1日までの出生者。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人式行事</li> <li>開催日時 平成29年1月3日13:00～</li> <li>会場 西田布施公民館</li> <li>対象者 167人 (H27 128人)</li> <li>出席者 133人 (H27 91人)</li> <li>(経費内訳: 賞賜金、消耗品費、印刷製本費、食糧費等)</li> </ul>		
事業の経費	531千円		
事業の成果と課題	8月より毎月1回程度、新成人による実行委員会を開催し、新成人が自主的に、記念式典、茶話会などの内容・運営方法を協議して、充実した内容の成人式を実施している。		
評価	A		

## No.22

施策名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	人権教育推進事業		
事業の概要	町民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現を目指し、人権教育講座、人権教育推進大会等を開催する。また、町広報への掲載などの活動により、啓蒙啓発に努め、人権教育の推進を図る。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育講座開設事業</li> <li>人権教育学習講座(中央公民館、参加者 延 162人)</li> <li>10月 6日「気になる子どもの理解と対応」 宮本剛先生</li> <li>10月13日「支え・愛・いきいきと人生をおくるために」 岸かおる先生</li> <li>10月20日「弾き語り法話『いのち』」辻田昌次先生</li> <li>・人権教育推進大会(西田布施公民館、参加者 約200人)</li> <li>11月26日「生きる喜び」児玉典彦先生</li> <li>県事業「市町人権教育促進事業」</li> <li>人権教育講座開設事業(1/2 補助、補助額 130千円)</li> <li>・町広報紙面に「私たちと人権」を掲載(年6回)</li> <li>(経費内訳: 講師謝金、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等)</li> </ul>		
事業の経費	435千円		
事業の成果と課題	<p>人権教育学習講座については、各種のテーマを取り上げ参加者の人権意識の高揚に取り組んでいる。また、人権教育推進大会については、夏休み中に児童生徒の作文・詩・スローガンを募集し、大会において優秀作品の発表・表彰及び記念講演を行い、小学生から大人まで幅広い年代層に人権意識の高揚を図っており、人権教育の推進に寄与している。</p> <p>課題としては、行事の実施・参加で終わらない切れ目のない活動が望まれることと、出席者が社会教育部長、自治会関係者、民生児童委員、教職員、婦人会など特定の人に限られるため、これまで以上に町民への周知、啓発が必要である。</p> <p>また、推進大会等の内容もマンネリ化しないように創意工夫が必要となっている。</p>		
評価	A		

## No.23

施策名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事業の名称	地域人権教育推進事業		
事業の概要	地域の人権教育推進を目的に、各自治会から社会教育部長を委嘱し、各公民館で開催する地域懇談会の企画・運営等行う。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城南地域懇談会 8月21日 50人(参加者数) 12人(社会教育部長会人数)</li> <li>・西田布施 " 6月18日 95人( " ) 15人( " )</li> <li>・東田布施 " 7月 2日 63人( " ) 23人( " )</li> <li>・麻郷 " 6月 3日 62人( " ) 17人( " )</li> <li>・麻里府 " 7月17日 44人( " ) 7人( " )</li> </ul> <p style="text-align: center;">計 314人( " )</p> <p>(経費内訳:講師謝金、報償費)</p>		
事業の経費	1,157千円		
事業の成果と課題	地域懇談会では社会教育部長会が中心となり、人権問題を幅広く捉え講師を依頼し魅力的な行事の開催に努めている。各地域の社会教育部長会は、3回から8回開催し、地域における学習機会・情報提供の充実などに努めている。なお、社会教育部長の役割は、時代の変遷とともに、自治会や地域行事における連絡調整などの役割を担っているが、人権教育の担当であることを自覚してもらい指導が必要となっている。		
評価	B		

## No.24

施策名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	地域公民館まつり開催事業		
事業の概要	10月から11月の時期に各公民館で、公民館まつり実行委員会の企画運営により公民館まつり、文化祭、文化展を開催する。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田布施町文化展(中央公) 10月22日～23日 180人(参加者数)</li> <li>・城南公民館まつり 10月23日 965人( " )</li> <li>・西田布施文化祭 11月 6日 800人( " )</li> <li>・東田布施公民館まつり 11月19日～20日 900人( " )</li> <li>・麻郷公民館まつり 11月 6日 1,000人( " )</li> <li>・麻里府文化展 11月13日 450人( " )</li> </ul> <p>(経費内訳:補助金 ※田布施町文化展は文化協会への補助金)</p>		
事業の経費	430千円		
事業の成果と課題	各公民館とも、講座の展示、ステージでの発表、小学校児童の出展、婦人会による出展など地域住民の協力を得ながら開催している。出展者等には生涯学習の成果を発表する機会を与え、参加者には多様な芸術文化に親しむ場所となっている。毎年、多数の協力者が参加しており、地域住民のふれあいの場となり、地域の活性化に貢献している。課題としては、協力者の多くが高齢化しており、若い後継者が育っていない。各館とも講座が減少しているため、出品者も減少傾向にある。講座内容の見直し等も必要となっている。		
評価	B		

## No.25

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	公民館運営事業		
事業の概要	公民館運営委員会、実行委員会を開催し、球技大会、盆踊り大会、料理教室などのイベントを企画・運営し、講座室等の貸館業務などの一般事務を行う。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館 (施設利用状況) 1, 181件、11, 650人(H27 1, 138件、11, 767人)</li> <li>・城南公民館 ホタルまつり(5月)、盆踊り大会(8月)、体育大会(9月) (施設利用状況) 560件、11, 203人(H27 671件、11, 133人)</li> <li>・西田布施公民館 球技大会(10月)、子ども料理教室(8月)、桜まつり(3月) (施設利用状況) 1, 769件、31, 718人(H27 1, 902件、31, 937人)</li> <li>・東田布施公民館 球技大会(9月)、コスモスまつり(10月)、子ども料理教室(7月、1月) (施設利用状況) 1, 076件、11, 001人(H27 1, 214件、10, 519人)</li> <li>・麻郷公民館 スポーツ大会(4月)、盆踊り大会(8月) (施設利用状況) 746件、13, 287人(H27 820件、13, 368人)</li> <li>・麻里府公民館 盆踊り大会(8月)、親子料理教室(12月) (施設利用状況) 331件、4, 897人(H27 371件、4, 729人)</li> </ul> <p>公民館使用料合計 3, 232千円(H27 2, 983千円) (経費内訳) 公民館運営委員報償、館長・主事賃金、消耗品、役務費、複写機使用料等</p>		
事業の経費	20, 833千円		
事業の成果と課題	各公民館において、地域の拠点となる行事・活動を積極的に行っており、地域の連携を深めている。公民館の運営については、適切に運営され、利用者も多く生涯学習の推進に貢献している。また、地域住民の参加による施設の環境整備や花苗・花壇管理を行っており、地域の交流の場としての活動を広めている。麻里府公民館は、小学校の廃校に伴い地域の子もたちとの関わりが希薄になりがちであるが、できるだけ地域と連携を深める活動に努めている。		
評 価	A		

No.26

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	公民館施設管理事業		
事業の概要	各公民館施設の維持管理を行う。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館 S43年建築 RC造2階建 967.67㎡</li> <li>城南公民館 S56年建築 RC造2階建 610.61㎡</li> <li>西田布施公民館 S61年建築 RC造平屋建 1,079.09㎡</li> <li>東田布施公民館 S62年建築 RC造2階建 613.93㎡</li> <li>麻郷公民館 S55年建築 RC造2階建 613.68㎡</li> <li>麻里府公民館 S52年建築 RC造平屋建 360.85㎡</li> <li>竹尾分館 S63年建築 木造平屋建 176.37㎡</li> <li>国木分館 H元年建築 木造平屋建 237.99㎡</li> <li>小行司分館 H6年建築 木造平屋建 199.93㎡</li> </ul> </li> <li>・耐震診断、耐震化工事実施状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>中央、城南、麻郷、麻里府公民館(S56年5月以前建築) 耐震診断実施(H22) (診断結果) 中央、城南、麻郷公民館 耐震無、麻里府公民館 耐震有</li> <li>城南、麻郷公民館 耐震補強工事完了(H23)</li> </ul> </li> </ul> <p>(経費内訳)</p>		

	光熱水費、電話料、保険料、保守点検管理委託料、下水道使用料、修繕料等
事業の経費	13,031千円
事業の成果と課題	<p>施設管理業務は、各公民館職員により適正に管理されている。</p> <p>中央公民館は、築後49年が経過しており、雨漏りのため陸屋根の防水改修工事を行ったが、建物の老朽化のため、雨漏りを完全に防げず応急措置で対応している。</p> <p>また、耐震化工事は未実施で、耐震診断結果は2階の X 方向(東西方向)のみが、Is目標値「0.60」に若干足りない「0.53」となっている。他の公民館についても、施設の老朽化が進んでいるため、公共施設整備計画等の検討が課題となっている。</p> <p>中央公民館は、2階会議室空調取替、消防署の指導により、1階2階の必要な箇所全てに誘導灯を設置した。</p> <p>西田布施公民館は、空調機の点検修理、麻郷公民館は、玄関の自動ドアの修理、麻里府公民館は、トイレの漏水修理を実施した。</p>
評価	B

No.27

施策名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	図書館管理運営事業		
事業の概要	<p>田布施図書館を読書活動の拠点施設とし、充実した管理運営を行い、図書館まつりや読書感想文コンクールの開催、移動図書による幼稚園・保育園・学校等との連携、ボランティアと協働した活動など読書活動の普及・啓発を図る。</p>		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>購入冊数 2,130冊(H27 1,885冊)</li> <li>蔵書冊数 89,760冊(H27 87,875冊)</li> <li>貸出冊数 87,133冊(H27 85,131冊)</li> <li>登録者数 14,501人(H27 14,118人)</li> <li>利用者数 35,843人(H27 35,723人)</li> </ul> </li> <li>・移動図書 9箇所を巡回 6,336人(利用者) 10,874冊(貸出冊数)</li> <li>・読書感想文コンクール 10月27日～11月9日 応募作品1,186点</li> <li>・読書貯金通帳 通帳の配布(4月1日～)</li> <li>・第24回図書館まつり 2月18日 読書感想文コンクール表彰等 538人(参加者数) 読書貯金通帳のグレートリーダーを表彰 各小3名、中1名</li> <li>・クリスマス会 12月24日 「おはなしの会」主催 58人(参加者数)</li> <li>・ボランティア「おはなしの会」10回開催 延329人(参加者数)</li> <li>・読書会「七草」11回開催 延47人(参加者数)</li> <li>・朗読ボランティア「もやいの会」25回開催 延125人(参加者数)</li> <li>・点訳ボランティア「ほおずきの会」41回開催 延168人(参加者数)</li> <li>・ブックスタート事業 「ブックスタートパック」を贈呈 97人(4ヶ月乳児) (施設) 田布施図書館 H3年建築 RC造2階建 855.23㎡ (施設整備事業) ・空調機械取替工事(1Fホール中央) 1,458千円</li> </ul>		
事業の経費	16,229千円		
事業の成果と課題	<p>図書館の活動実績については、前年度より利用者数、登録者数とも増加している。また、読書活動についても、各種の事業により普及促進が図られている。</p> <p>平成28年度は、読書貯金通帳事業により、学校を中心に事業の促進に努め、優秀者は、図書館まつりにおいて表彰した。</p> <p>施設管理では、建築から20年以上が経過しており、空調機更新、内装補修等の経</p>		

	費が増加しているため、順次対応が必要である。
評 価	A

No.28

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	郷土館管理運営事業		
事業の概要	岸信介・佐藤榮作兄弟宰相を中心に、本町ゆかりの人物の遺品・遺作等を展示公開し、また、国森、後井などの古墳・遺跡からの出土遺物等の展示を通して、郷土の歴史と文化に対する理解を深め、町民文化の向上を図る。		
事業の実績	<p>郷土館利用状況</p> <p>入館者数 1,942人(H27 2,538人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の自然災害の記録と写真展 平成28年8月1日～平成28年8月31日 来場 261人</li> <li>・おおばのフォトクラブ写真展 平成28年9月6日～平成28年9月18日 来場 58人</li> <li>・真空管を中心としたオーディオ機器などの歴史展 平成28年10月1日～平成28年11月29日 来場 438人 <ul style="list-style-type: none"> <li>①真空管レコードコンサート 11月19日 15人</li> <li>②真空管レコードコンサート 11月23日 25人</li> </ul> </li> <li>・古代米アート・応募写真の優秀作品の展示 平成28年12月3日～平成28年12月22日 来場 119人</li> <li>・佐藤榮作元宰相映像展 平成29年3月15日～平成29年3月30日 来場 136人</li> <li>・「ユメをカタチに」作品展示会 平成29年3月22日～平成29年3月26日 来場 40人</li> </ul> <p>田布施町郷土館研究紀要(第17号) 8月1日発行</p> <p>郷土館友の会(ふるさと民話紙芝居作成)</p> <p>第28作 享保の飢饉 平成28年10月18日</p> <p>第29作 丸尾薬師とガラガラ刀 平成29年3月28日 (施設)</p> <p>田布施町郷土館 RC造2階建 748.00㎡ 土地 1,209.00㎡ NTT-APより賃借(旧電話交換所事務棟) 賃借料 2,052千円</p>		
事業の経費	8,008千円		
事業の成果と課題	<p>岸、佐藤宰相の企画展や埋蔵文化財の巡回展等を積極的に開催し、郷土の歴史・文化の研究・紹介などに努めている。</p> <p>賃借物件は、本来、収蔵品を適正に保管するための施設ではなく、湿度管理など困難な面がある。このため収蔵品を適正に保管するための設備が必要とされる。</p> <p>また、建物は建築から相当の年月が経過しており、また設備についても貸借当初(平成元年)設置の冷暖房設備やトイレの不具合など、老朽化が進んでいる。施設の新築、移転についても、現在の契約期間(H28年度～H32年度:5年間)を考慮しながら、検討する必要がある。</p>		
評 価	B		

No.29

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
-------	-------------	-----	-------

事業の名称	埋蔵文化財調査事業
事業の概要	国営緊急農地再編整備事業に伴う埋蔵文化財試掘調査及び発掘調査を行う。周知の埋蔵文化財包蔵地における開発事業計画等の申請事務等処理する。
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南周防農地整備事業に伴う国庫委託事業(委託金 96.87% 25,258千円) <ul style="list-style-type: none"> <li>石の口団地発掘調査事業 24,604千円</li> <li>鳥越古墳発掘調査 653千円</li> </ul> </li> <li>・単独事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>町内遺跡試掘調査事業 71千円</li> <li>作業所整備事業 680千円</li> <li>発掘調査関連事業 16,990千円</li> <li>計 17,741千円</li> </ul> </li> </ul> <p>石の口団地現地説明会 12月17日 約25人(参加者数) 石の口団地現地説明会 1月28日 約40人(参加者数)</p>
事業の経費	42,999千円
事業の成果と課題	町が行う発掘調査事業は4年目となり、文化財専門員を中心に調査事業を進めている。発掘調査事業終了後に現地説明会を開催し、地元住民や関係者の理解を深めている。また、発掘調査の状況を役場の「玄関展」として、また文化財を広報に掲載し、町民に知っていただく取組も行っている。
評価	B

No.30

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	スポーツ推進体制強化事業		
事業の概要	「生涯スポーツのまち田布施」の実現のため、スポーツ推進委員が中心となり年齢、体力に応じたスポーツ活動への参加、参画を啓発し、スポーツ団体と連携しスポーツ活動の機会の充実を図り、また、スポーツ団体指導者の研修、ボランティアの育成など人材育成の場を提供し、生涯スポーツの推進を図る。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員 <ul style="list-style-type: none"> <li>町スポーツ推進委員会 2回開催(スポーツ推進委員 9名)</li> <li>県スポーツ推進委員研修会(防府市) 6月4,5日</li> <li>心身障害者協議会ふれあい球技大会で指導 10月9日</li> <li>老人クラブ連合会レクリエーション大会で指導 10月20日</li> <li>桜まつりロードレース大会・スポーツまつり・ウォーキング大会・町内一周駅伝大会等で指導・協力</li> </ul> </li> <li>・スポーツ少年団 <ul style="list-style-type: none"> <li>県スポ少指導者研修会(周南市) 6月11日</li> <li>県スポ少ジュニアリーダースクール(光市) 7月28日～30日</li> <li>県スポ少指導者・育成母集団研修会(柳井市) 11月5日</li> <li>県認定員養成講習会 1月21,22日 57人(田布施町引受)</li> </ul> </li> </ul>		
事業の経費	480千円		
事業の成果と課題	スポーツ推進委員、スポーツクラブ指導者、スポーツ少年団指導者等が連携し、スポーツ施策の推進に努めている。課題としては、スポーツ推進委員は、地域毎に分担しているので、特定の地域に偏らないように配慮するとともに、後継者づくりにも努める必要がある。		

評 価	B
-----	---

No.31

施 策 名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	生涯スポーツ推進事業		
事業の概要	全ての町民が様々な形でスポーツに関わり、健康で生きがいを感じることができる「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指し、ひとりスポーツを合い言葉に、スポーツを通じて体力を強化し、健康の維持増進を図ることを目的に、スポーツ団体、スポーツイベントを支援する。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブ「田布施スポーツクラブ」（町補助金 400千円） クラブ員数 13団体、333人(H27 314人) 会員親睦交流大会 7月2日 約300人(参加者数)</li> <li>・「田布施町スポーツ少年団」（町補助金 381千円） 団員数 11団体、215人(H27 232人) 結団式 4月29日 約300人(参加者数)</li> <li>・「田布施体育協会」（町補助金 1,370千円） 団員数 14団体、約600人 町内一周駅伝競走大会 12月11日 52チーム(H27 46チーム) 「田布施川桜まつりロードレース大会実行委員会」（町観光協会補助） 田布施川桜まつりロードレース大会 4月3日 1,224人(H27 1,227人) 「たぶせスポーツまつり実行委員会」（町補助金 393,528円） たぶせスポーツまつり 10月15日 約1,100人(H27 約1,300人)</li> </ul>		
事業の経費	2,545千円		
事業の成果と課題	各団体とも団員拡大、自主運営の推進及び団体相互の交流促進に努め、生涯スポーツの振興に貢献している。 課題としては、関係団体等との連携・協力体制が十分ではないので、より円滑に運営できるよう各種関係団体と連携を図る必要がある。		
評 価	B		

No.32

施 策 名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	我がまちスポーツ推進事業		
事業の概要	「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指す一つの取組として、ウォーキングの普及を図る。		
事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体 総合型地域スポーツクラブ「田布施スポーツクラブ」 ウォーキング大会 11月26日 105人(H27 102人) 魅力再発見ウォーキング 年24回実施</li> </ul>		
事業の経費	一 千円		
事業の成果と課題	県の補助事業は終了したが、「田布施町スポーツ推進計画」(平成26年3月策定)でウォーキングを「我がまちスポーツ」と位置付けて、事業の推進に取り組んでいる。 ウォーキングマップの配布、ウォーキング大会・魅力再発見ウォーキングの実施を通		

	じて、町民の健康増進に努めている。
評価	A

No.33

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	スポーツセンター管理運営事業		
事業の概要	指定管理者「田布施体育協会」により、田布施町スポーツセンターの管理運営を行う。		
事業の実績	<p>・施設利用状況</p> <p>第1体育館 18,953人(H27 17,200人)  第2体育館 21,776人(H27 21,564人)  プール 3,812人(H27 3,748人)  グラウンド 15,155人(H27 15,564人)  弓道場 5,311人(H27 4,212人)  テニス場 2,722人(H27 2,490人)  艇庫 30人(H27 30人)  施設使用料合計 3,349千円(H27 2,753千円)</p> <p>(施設)</p> <p>第1体育館 S57年建築 S造平屋建 728.50㎡  第2体育館 S58年建築 S造平屋建 1,221.00㎡  プール上屋 H26年建築 S造平屋建 914.64㎡  〃更衣室 S57年建築 RC造平屋建 118.83㎡  弓道場 S62年建築 木造平屋建 295.64㎡  艇庫 S58年建築 S造平屋建 447.00㎡  グラウンドナイター設備 H2年設置 8基 (グラウンド 16,358㎡)</p> <p>・指定管理協定(平成20年度から導入)  指定管理者:田布施体育協会  指定期間:平成26年4月1日～平成29年3月31日(3年間)  指定管理料:17,830千円(1年間)</p> <p>・施設整備事業</p> <p>○補助事業(第1体育館)  防災拠点再生可能エネルギー等率先導入推進事業 29,890,080円</p> <p>○単独事業  第2体育館男子女子便所修繕工事 565,920円  第1体育館防水改修工事 3,403,080円  プレハブ倉庫補修工事 599,400円</p>		
事業の経費	54,273千円		
事業の成果と課題	施設の利用状況については、利用者数も増加し、使用料収入は、前年度に引き続き増収となっている。施設の管理については、概ね適切に管理されている状況である。しかしながら、田布施体育協会の後継者の育成、地域、行政、関係団体等との連携・協力などについての課題も多い。また、施設の老朽化に伴う修繕なども増加して		

	おり、順次対応が必要となっている。
評 価	C